

日々雑感 シリーズ

地域に密着した相談支援を……
母子自立支援員さんたちの取り組み



京都ジョブパーク



相談員 **大野 通子**

京都府ひとり親家庭自立支援センター

京都府ひとり親家庭自立支援センターは、京都市の南区に立地しており、京都駅から南に歩いて10分と非常に便利なところにあります。なかでも特徴的なのは、京都ジョブパークという就業支援拠点と一体化しているところです。京都ジョブパークは、就職活動の入り口から出口までをワンストップで支援しており、働きたい気持ちはあるが、一歩踏み出せずにとどまってしまう方々に、担当制でカウンセラーが支援しています。また社会的なマナーやコミュニケーション力などを身に付けるためのセミナーなどを行い、相談者自身が前に踏み出そうとする力を後押しできるように支援しています。

当センターには、就業相談だけでなく、たくさんの困りごとを抱えてお越しになられる方も多くあります。そういった方の対応の際には、緊急性の要否を含め、その方の置かれている状況を正しく把握することを心がけています。困窮した状態がより一層深刻化しないために、こういった手立てをどの順番で行っていくかなどを見極め関わっていく必要があるからです。

また、離婚を決意したが、何からどう動けばいいかわからない場合などには、弁護士相談の活用を促し情報収集をしていただくようにしています。その際、相談員が弁護士相談に同席し、法律的な専門用語がわかりにくく感じられた際に、説明を補足するなど、工夫して対応しています。

また、“ほっこりカフェ”というカフェを定期的開催し、当事者同士が同じ目線で、気兼ねなく、お話

しできる機会を持っていただいています。

ジョブパークには履歴書などの作成のためにパソコンを用意しており、その横にはお子さんの遊び場があります。お母さんが安心して作業できるように工夫してあります。また、採用面接にあたってお母さんへ貸し出すスーツ一式、靴、バックを用意しています。辛い体験を、やっとの思いで打ち明けられた際、まずは支援者として、しっかりとお話ししていただいた内容を受け止め、共感し、信頼関係を築きつつ、今後どのように解決の方向に向けて動くのかを、一緒に考え整理していくようにしています。またその方の背景には、子どもたちの姿があることを頭に置いておくようにしています。そのことによって、その方自身がいかにということと併せて、親として子どものためにはどう行動するべきかなど、何を選択することが大切か考え自分を客観的に見つめていただくきっかけにもなるからです。そのために、センターのメンバーがチームとして随時情報を交換しながら、お一人お一人の悩みに沿った支援ができるような態勢作りを心掛けています。

そして私達からは、「いつも応援していますよ、ここからエールを送っていますからね！」と励ましを送り続け、「私にできることはたくさんある。」という気持ちを抱き、子どもとともに前向きに歩いていただきたいと心から願っています。

京都府ひとり親家庭自立支援センター ホームページのアドレス <http://hitorioya.kyoto/>



可愛らしく、パワフルなベテラン相談員の大野さん



明るくほっとする雰囲気の執務室



オープンスペースでお子さん連れでも安心なマザーズジョブカフェ